



広報あやせ

主な記事

- ②子ども予防接種週間
- ③健康だより
- ④春のチャレンジ ボランティア募集▶
- ⑤農業体験参加者募集



▶センター内の指令台

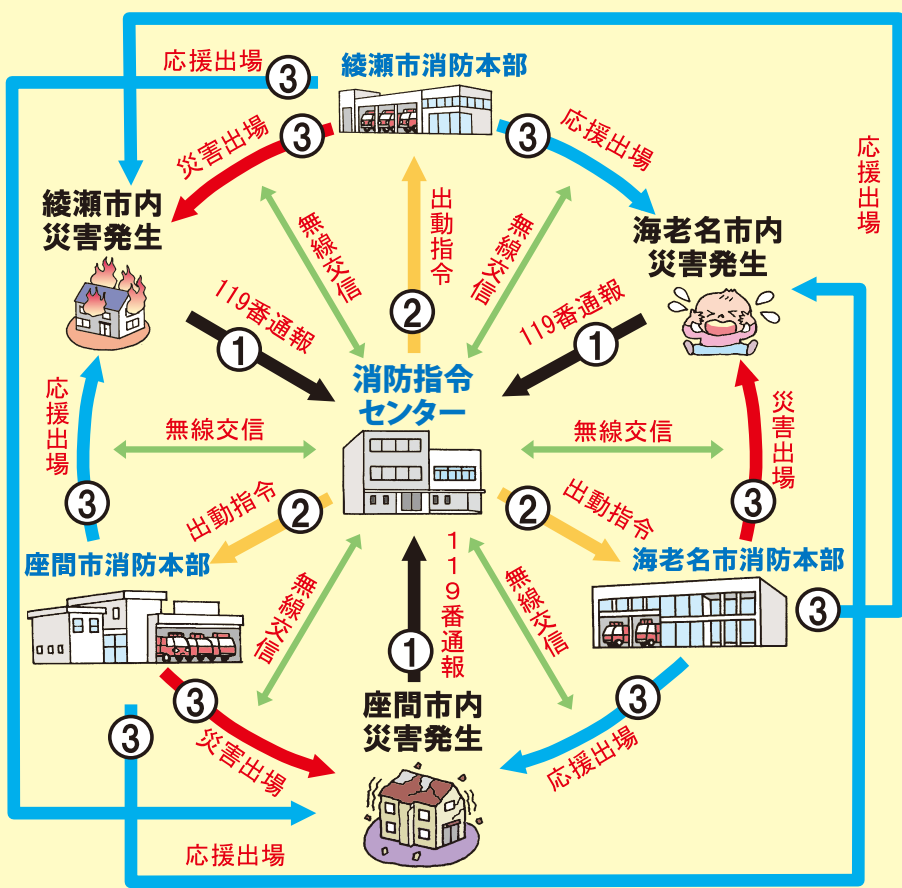


▲センターの外観



▲所在地：海老名市柏ヶ谷1047-3

通報から出場までの流れ



119番通報



受信・処理がより迅速に

指令センター、4月運用開始

3市による共同運用
相互応援など可能に

綾瀬、海老名、座間の3市では、海老名市柏ヶ谷に消防指令センターを建設し、4月から共同運用します。運用開始後は、3市それぞれが受けている119番通報を全て同センターで受け付けます。共同で運用すること

消防行政の環境変化 電波法改正が背景に

消防指令は、消防活動の最前線として、災害通報の受信や出動指令、情報伝達など、迅速で的確な対応が求められる業務です。従来は、各市町村

で、各市消防本部の連携強化や迅速な相互応援出動、大規模災害時での即時の情報共有が可能になります。

の消防本部ごとに指令施設を整備・運用し、業務を行ってきまされた。しかしながら、近年の消防行政を取り巻く環境は、予想もつかない速さで変化し、複雑・多様・広域化する災害への対応や高水準の住民サービスの提供、さらには業務効率化を含む基盤強化などが求められるようになりまし

また、電波法の改正で、消防救急無線は来年5月までにアナログ方式から



よりの確な対応ほか 経費の削減も可能に

共同運用の開始によって、次の市民サービスなどが向上できます。

- 的確な対応が可能に**
同センターでは119番通報の受信・処理能力が大幅に向上することから、通報が集中した際

デジタル方式に移行しなければならぬことから、多額の整備費用が必要とされてきました。こうした環境の変化や法改正に対応するため、3市が連携し、同センターの整備を進めてきました。

1. 迅速に対応できるようになります。

2. また、同じ事故や災害に関する通報が複数寄せられた際にも、情報を正確に収集できます。

■**経費削減**
共同運用することで、施設整備費や維持管理費を削減できます。

3. 消防総務課 ☎76・2113。

■**応援出動が迅速化**
災害発生状況や消防車両の出動状況を一元管理することで、救急事故多発時や大規模災害時には、通報受信と同時に各市へ応援出動をすることが可能になります。

